

ニチイキッズうえき保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月4日（木）～2月1日（金）
	実施方法	自己評価を行い、課題について話あった。
保育施設の評価	評価日	2025年2月25日（火）
	実施方法	個々の職員の振り返りや反省をまとめ見直し話し合い、次年度に向けての目標・課題を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念・保育目標を毎月全職員で唱和し意識するよう心掛けた。それをもとに園内研修を行い理解を深め、子どもにとっての最善の利益とはなにかを考えながら保育を行った。
子どもの発達援助	発達段階に個人差があり、個別での対応が必要だった。その都度全職員で話し合い改善策を考えながら信頼関係を築くことができた。
保護者に対する支援	それぞれの保護者の立場を考えながら、その思いに寄り添いコミュニケーションをとることができた。伝えることをしっかり伝えられるように、その都度確認をしながら送迎時に直接話をする時間を設けた。
保育を支える組織的基盤	業務の優先順位を立て計画的に行えるようにしたが、なかなか思うように進まないこともあった。日誌やミーティングを活用しながら全職員に共有し、スムーズに業務が行えるようにしていった。

総評
年度途中で施設長が交代し変化もあったが、その都度マニュアルを見直し、確認しながら保育を行うことができた。改善策や対応策など確認事項を全職員に共有できるよう日誌への記載を徹底するようにした。今後もミーティングや日誌、会議など話合う場を多く設けながら、全職員が同じ方向性で保育を行えるようにしていく。